

# 釜石地方

# 森林組合だより

—緑豊かで活力ある釜石地方林業の確立をめざして—

## 第4号

平成30年6月30日

良質生産は間伐から  
みんなの森林組合

〒026-0302 岩手県釜石市片岸町1-1-1

TEL (0193) 28-4244 FAX (0193) 28-2901 www.kamamorikumi.jp



## 林野火災の早期復旧と間伐作業 による環境保全を目指して



釜石地方森林組合  
代表理事組合長 久保知久

久保知久

昨年五月八日に発生した尾崎半島林野火災被害に見舞われた組合員の皆様にお見舞いを申し上げます。

昨年六月に釜石市を事務局に「林地再生対策協議会」を発足し、釜石市、県沿岸広域振興局、当組合の三者で早期復旧に向け協議して参りました。

東日本大震災被害エリアで発生した林野火災であること。そして林野火災被害エリアは、市内でも有数の豊かな漁場であることから、釜石市が事業主体となり早期に復旧するはこびとなりました。

限られた復旧計画の期間内で少しでも多くの面積を復旧すべく体制強化に努め取り組んでおります。平成二九年度は約四十haの特殊地拵作業が完成し現在、植樹並びに特殊地拵作業を継続しております。

また、県内外の方々から頂いた募金を、苗木代等に活用して全十回の植樹活動を行い、県立釜石高校の生徒や一般の方々約二〇〇名のご協力の下、約一・九ha程の植樹を完成することができました。

昨今の「異常気象」と呼ばれる現象はすでに常態化し、予測をはるかに上回る豪雨が多発しております。本年七月三日以降降り続いた豪雨は西日本各地に甚大な被害をもたらしております。

地域の森林保全の担い手として取組んでまいりました当組合は、これからも災害の未然防止のため間伐遅れ林分の解消と伐採後の放置森林の早期緑化をめざして管内の森林の健全化に取り組んでまいります。

また、三〇年度税制改正大綱で創設された「森林環境税」「森林環境譲与税」は、森林経営の難しい所有森林を各地方自治体に管理委託し、地域として環境保全に取り組む新たな制度として地域環境保全と新たな木材利活用拡大を目指す重要施策として期待しており、釜石市及び大槌町と協議して森林資源の保続培養に努めてまいります。

本年度は総代の改選と役員を選任、新たな執行者を決める重要な時期となります。秋以降地区会議を開催いたしますので、ご出席、ご支援をお願いして挨拶に代えさせていただきます。

# 森林資源の好循環を目指して



釜石市長 野田 武則

二〇一七年五月に発生した釜石市尾崎半島林野火災から、一年が経過致しました。

この林野火災では、強風の影響もあり民家等への延焼は食い止めたものの、広範囲が消失し多くの山林が被害に遭われました。被災した山林所有者の皆様には、改めて心からお見舞い申し上げます。

消火活動は、稀にみる強風のため困難を極めました。自衛隊及び消防団、特にも現地の地形に詳しい森林組合員の皆様の全面的な協力をいただき鎮火することができました。消火活動に関係した皆様には、深く感謝申し上げます。

さて、当市は総面積の約9割が森林で占められております。森林資源を守ることは、水の保、地形・土地の保全、大気

の浄化など様々な役割を果していると思っております。

そこで、このような観点から当市は特徴的な林業施策の一つとして「緑のシステム創造事業」に取り組んでいます。

これは、計画的な森林整備の推進と安定的な木材生産さらには、森林内に賦存する林内未利用資源を森林外に搬出・供給する地域独自の複合供給システムの構築を目指すものであります。

これらを森林組合の皆様はじめ林業関係者、木材産業関係者と共に取り組むことにより当市の震災からの復興はもとより、山林火災の復旧、そして、更なる林業の振興を図りたいと考えますので、組合の皆様におきましては益々のご理解とご協力をお願い致します。

# 「森林経営管理制度」を活用



大槌町長 平野 公三

まず初めに、平成29年5月8

日に発生した釜石市尾崎白浜、佐須地区の林野火災で被害に遭われました森林所有者の皆様にご心よりお見舞い申し上げますと共に、現在も復旧にご尽力されている貴組合の皆様にご敬意を表します。400haを超える面積を焼失したこの山火事の脅威を感じると共に、平時からの山火事予防活動の重要性について認識を新たにしたいところであります。

さて、東日本大震災津波から7年が経過し、当町においては、住家や大槌学園、大槌町文化交流センター（愛称「おしゃっち」）等の復旧・復興工事において、町産材等木材の活用を進めており、併せて、林野火災跡地や伐採地等への植林を、貴組合と協力し進めているところであります。

今後、所有者不明の森林の増

加等の課題に対して、森林環境税（仮称）等を活用した新たな森林経営管理制度が始まる予定であり、本施策実施には貴組合との連携が重要となりますので、組合員の皆様には一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



## 大槌町農林水産課

課長 小笠原純一

《農林班》

0193-42-8717 (直通)

佐藤 明

## 釜石市産業振興部農林課

課長 栗澤 成雄

《林業振興係》

0193-27-8426 (直通)

宮本 祥子  
平林 大騎

## 岩手県沿岸広域振興局 農林部

部長 高橋 昭雄  
特命課長 三宅真佐子

《林業振興チーム》  
0193-27-5524

上部 明宏 / 上席林業普及指導員  
菊池 緑

# 困難を乗り越え さらなる飛躍を



沿岸広域振興局農林部長  
**高橋 昭雄**

去る東日本大震災から7年が経過しましたが、県では、被災した海岸防災林の整備等、復興事業を着実に進めています。貴組合は大震災の被災を乗り越え、様々な取組を力強く進めてこられました。特に、29年4月からは釜石地域森林整備基金事業をスタートさせ、再造林の促進に取り組みれていたところでしたが、5月に大規模森林火災が発生。貴組合員の森林が大きな被害を受けたことから、被害調査や被害材の販売先の確保、復旧事業の実施など、被災森林の復旧に大きな役割を果たしていただいていることに、あらためて敬意を表するものです。

今後、沿岸地域では、復興道路の完成や三陸鉄道の開通

などの交通ネットワークの整備、「ラグビーワールドカップ2019」の開催等を契機とした国内外との交流の活性化、地域経済の発展が期待されております。こうした中で、貴組合がこれまで推し進めてきた、「釜石・大槌パークレイズ林業スクール」による人材育成や、「上閉伊地区木材流通協議会」を通じた地域材の利用拡大の取組が実を結び、地域経済発展への貢献が期待される所です。

県といたしましても、引き続き貴組合と連携し、大震災からの復興と木材産業創生の取組を一層強力に推進していく所存でありますので、ご協力よろしくお願いたします。

# 新任職員紹介

岩手県沿岸広域振興局  
農林部



**中村 文治**  
(新任)  
上席林業普及指導員

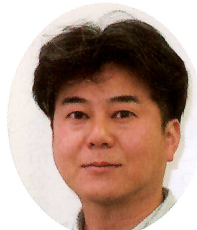
23年ぶりに釜石に赴任いたしました。あの頃のことは良い思い出ばかりで、お世話になった方々が今もたくさんいらっしやいます。この機会に、何か恩返しできれば幸いです。よろしくお願いたします。

釜石市産業振興部  
農林課



**松岡 公浩**  
(新任)  
主幹兼林業振興係長

釜石市出身、勤続30年目です。趣味ゴルフ、特技サッカーです。林務行政は初めてとなります。専門色が強い職場なので外国にいる気分ですが、体育会系のノリで頑張ります。



**亀田 正宏**  
(新任)  
主任主査/富山県派遣職員

昼気楼の見える街、富山県魚津市より参りました。応援職員とは名ばかりで、未だ逆に応援頂いている状態ですが、岩手の美味しいものをいただきつつ頑張ります。どうかよろしくお願いたします。



**藤井 英明**  
(新任)  
主任

民間の建設会社から転職しました。行政職は初めての経験ですが、私も山林所有者者ですので、昨年の林野火災の復旧に向けて、バスケットボールで培った体力で頑張りたいと思います。

大槌町農林水産課  
農林班



**藤原 佑輔**(左)  
(新任)  
班長

担当は全員大槌町出身で、釜石市内の高校卒業です。地元に着し、森林の適正管理活用のため、林地台帳と新たな森林経営管理制度の準備を確実に進めたいと思います。

※H30年度新任の方は写真とメッセージ付きでご紹介します



# 平成三十年度 総代会報告

平成三十年二月二十三日、総代本人出席百十四名、委任出席五名、書面議決権五十名で出席総代数百六十九名の協力のもと第五十五回釜石地方森林組合通常総代会が開催されました。

冒頭挨拶の中で、代表理事組合長久保知久からは昨年五月八日に発生した尾崎半島林野火災被害に見舞われた方々そして東日本大震災津波被害から七度目の総代会開催にあたり改めて犠牲になられた方々への哀悼の誠を表するとともに「大規模林野火災被害地への対応に伴う体制強化を図り、役職員が一丸となり早期の地域環境回復に向けて取り組んでまいり所存です」という強い決意をお伝えしました。

また、釜石市長、大槌町長、岩手県沿岸広域振興局長から地域森林管理の担い手としての高い期待とともに祝辞を頂戴しました。

議長には大槌地区の東梅康悦氏が選出され議事に入りました。事務局から平成二十九年度

の事業報告とともに経常利益七千四十八万三千円を計上したことを報告するとともに第一号議案から第八号議案が上程され慎重審議の結果提出議案すべて承認可決されました。

ここに組合員各位の御協力に感謝申し上げますとともにより一層組合員サービスの向上を図りながら、森林の資産価値の向上に努めてまいりたいと決意したところであります。今後とも協力のほどお願いいたします。

## 承認、可決された提出議案

- 第一号 平成二十九年度事業成績及び剰余金処分案の承認について
- 第二号 釜石地方森林組合定款の一部改正について
- 第三号 平成三十年度事業計画設定について
- 第四号 平成三十年度内における借入金金の最高限度額決定について
- 第五号 平成三十年度内における一組合員に対する貸付金の最高限度



- 第六号 平成三十年度理事及び監事報酬の年度額決定について
- 第七号 余裕金の預入先決定について
- 第八号 森林整備補助金事務取扱手数料の料率決定について

## 釜石地方森林組合の概要

### I 組合員の状況及び出資口数

平成29年12月31日現在

	組合員数	出資口数	出資金額
正組合員	1,626 <sup>人</sup>	98,705 <sup>口</sup>	98,705 <sup>千円</sup>
準組合員	22	510	510
計	1,648	99,215	99,215

### II 役職員の状況

平成29年12月31日現在

	常勤	非常勤	参事	一般職	現場職	計
理事	1	13				14
監事		3				3
職員			1	8(1)	13	22(1)

### III 施設及び高性能機械の保有

平成29年12月31日現在

名所	構造	面積(m <sup>2</sup> )	台数	備考
仮設事務所	木造軸組	377.61		片岸町
機械保管庫	木造・トタン葺	97.00		片岸町
貯木場	アスファルト舗装	8,600.0		片岸町
プロセッサ外			3台	
フォワーダ			2台	

## Ⅳ 有形固定資産の明細

平成29年12月31日現在 単位：千円

種類	取得価格	償却累計額	償却後の残高
建物	64,094	11,242	52,852
構築物	100,916	30,272	70,643
機械装置	85,727	85,476	251
車両運搬具	23,980	22,008	4,452
工器具備品	2,333	2,382	1,182
計	277,050	151,380	129,380
土地	56,967		
所有林	26,144		
分収林	25,112		
計	108,223		
合計	385,273		

## 議案第1号

## Ⅴ 貸借対照表

平成29年12月31日 単位：千円

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	552,739	流動負債	187,391
有形固定資産	237,605	固定負債	61,883
外部出資その他の資産	18,910	計	249,274
計	809,254		
		純資産の部	
		出資金	99,215
		法定準備金	198,046
		任意積立金	199,000
		当期剰余金	58,665
		前期繰越剰余金	5,054
		計	559,980
資産合計	809,254	負債、純資産計	809,254

## Ⅵ 損益計算書の明細

平成29年1月1日～平成29年12月31日 単位：千円

区分	金額	取扱数量
指導事業	収益	2,020
	費用	1,118
	損益	902
販売事業	収益	78,138
	費用	52,536
	損益	25,602
森林整備事業	収益	373,587
	費用	159,701
	損益	213,886
事業総利益	240,391	
事業管理費	165,459	
事業利益	74,931	
事業外損益	-4,447	
経常利益	70,483	
特別損益	386	
税引前当期利益	70,869	
法人税・住民税事業税	12,203	
当期剰余金	58,665	
前期繰越剰余金	5,054	
当期末処分剰余金	63,720	

# 事業課から

## 事業課職員紹介



技師  
**加賀 洋希**  
(補助事業〈造林〉)



技師  
**今野 翔平**  
(木材販売、機関造林)



係長  
**小笠原友彦**  
(補助事業〈間伐〉)



課長補佐  
**久慈 雄一**  
(木材販売)



課長  
**佐々木健介**  
(総括)

林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため、市町村を介して小規模な森林を意欲と能力のある林業経営

### 「森林経営管理制度」創設へ

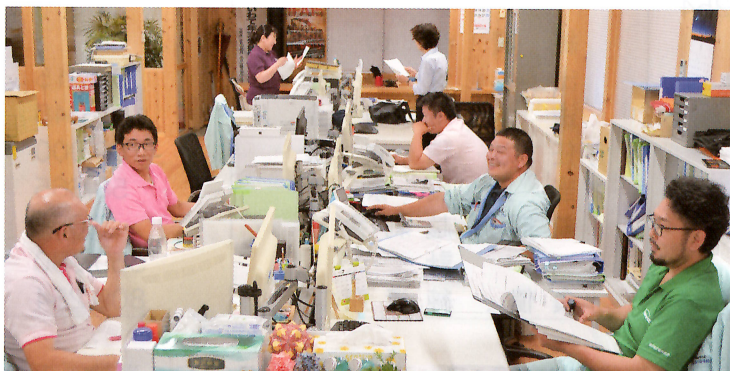
被災材については、報道等でもご存じの通り三〇年釜石開催が決定したRWC釜石鶴住居復興スタジアムに「上閉伊地区木材流通協議会」を活用して供給を行いました。

又、被災材の早期販売の為、建築用材・バイオマス材ともに新規販売先の拡大を行いながら有利販売に努めてきました。

平成二九年五月八日に釜石市の尾崎半島で発生した林野火災は植栽により復旧を計画している面積がおよそ二六〇ヘクタールとなっております。

現在当組合が四三・八九ヘクタールの特殊地拵、植付(うち一・九ヘクタールはボランティア)作業を実施しております。伐採から地拵までの一貫作業による低コスト化施策を行いながら、他の林業事業者の協力を得て林野火災復旧を最優先事業に位置付け、事業を本格化しております。今後も被災した組合員のため早期復旧に努めてまいります。

平成二九年五月八日に釜石市の尾崎半島で発生した林野火災は植栽により復旧を計画している面積がおよそ二六〇ヘクタールとなっております。



体に委ねて林業経営の集積・集約化を図るとともに、経済的に成り立たない森林は市町村が直接管理する「森林経営管理制度」の創設を目的とした「森林経営管理法」が平成三〇年五月二五日に参議院本会議で可決、成立(法施行：平成三二年四月一日)し、三一年度から森林経営管理制度(新たな森林管理システム)が運用されることとなりました。概要が決まり次第、情報をお伝えしてまいります。

(文責：久慈、加賀)

### 〈林産事業〉

林産事業等については、昨年発足した「上閉伊地区木材流通協議会」を通じ、顧客のニーズに素早く対応する事で、安定した木材の流通を行えるよう取り組んでいます。本年度の販売量を4万1,000㎡を目標に掲げ各事業展開を図っております。

現在は、林野火災の復旧事業を優先した事業計画となっており、組合員の皆様より委託されている山林について、当初計画より事業時期の変更を余儀なくされ、ご迷惑をおかけしておりますが、何卒、ご理解のほどお願いしたいと思います。

### 〈原木の市況状況〉

- ・スギ…製材・合板・集成材の販売先を開拓し安定した販売を行っておりますが価格は横ばい。
- ・アカマツ…時期により取扱注意。特殊材は注文あり
- ・カラマツ…全体的に品薄傾向にあり価格も良好
- ・広葉樹…φ24cm上の用材は需要増。価格も高騰している。

### 〈補助事業〉

- ◎森林環境保全直接支援事業(地拵・植付、下刈、除伐、保育間伐、鳥獣害防止施設等整備等)
  - ◎環境林整備事業(気象害等による被害森林の復旧造林及び鳥獣被害対策等)(地拵・植付、下刈、除伐、保育間伐、鳥獣害防止施設等整備等)
  - ◎合板・製材生産性強化対策事業(間伐、森林作業道)
  - ◎合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業(間伐・森林作業道)
  - ◎いわて環境の森整備事業(混交林誘導伐)
- 以上の補助制度が設けられております。この補助制度を使用する場合は持続的な森林経営を確立するための**森林経営計画**を作成する必要がありますので詳しく知りたい方、わからないこと等がある方は担当(小笠原・加賀)までご連絡下さい。

※ 当センターにて針葉樹・広葉樹とも薪を随時販売しております。  
詳しくは担当(久慈・今野)までお気軽にお電話下さい



釜石地方森林組合に新しく若い三人の仲間が加わりました。三人は今年四月から一年間は矢巾町にある「いわて林業アカデミー」で林業の技術や知識の習得に励んでおり、来春から管内の現場で伐採などの仕事に従事します。

現在、三人はアカデミーで学習した内容についてのレポートを書いており、隔週で当組合のブログ <http://blog.kamamorikumi.jp/> に掲載していますので、ぜひお読みください。



＜新加入スタッフ紹介＞

- ①出身地
- ②趣味
- ③抱負



とうはる 東梅  
かずき 和貴

- ①大槌町
- ②スポーツ観戦
- ③大槌・釜石の豊かな自然を守るために、幅広い知識を身につけ仕事に励みます。



くまがい 熊谷  
りょうすけ 亮佑

- ①釜石市
- ②読書、ツーリング
- ③地域の方々の力になれるよう、毎日ががんばりたいと思います。



こはやし 小林  
れお 怜央

- ①大槌町
- ②野球、釣り
- ③仕事を早く覚え、林業における知識と技術を身につけてがんばっていきます。

第二期林業  
スクール開講中

当組合が地域の林業を担う人材を育成するために開校させた「釜石大槌パークレイズ林業スクール」は平成三〇年四月から第四期を実施しています。

林業スクールは、世界有数の金融機関「パークレイズグループ」からの支援を受けて取り組んでいるもので、当初は二九年度から三年間で約三四〇〇万円の支援金で運営する予定でしたが、今年度からは残金を活用しつつ一部は受講者の自己負担で運営しています。

今期含む四年間で、当組合の組合員またはその家族からも六名に受講していただきました。そのほか、受講後に林業に関連する事業で団体を立ち上げた方、内陸から釜石にUターンして林業を始めた方など、釜石・大槌で林業にかかわる人材を輩出しています。

- ①十二名を対象に毎月一回の講義（座学と実習）を行う「実践編」
- ②広く市民の方々に森林や林業について知っていただく「オープンセミナー」



――の二本立てで、さらに①は釜石まで通学可能な近隣の方向けの「通年コース」と遠方在住

の方向けの「短期集中コース」に分かれています。

現在実施中の「通年コース」には十九名の応募があり、そのうちの男女十四名が五月から毎月学んでいます。四泊五日の「短期集中コース」には首都圏在住の岩手県出身者や大学生、若手会社員など全国から受講生が集まっています。

「通年」「短期」ともカリキュラムはほぼ同じで  
▽日本の森林、林業の課題／釜石大槌地域の林業  
▽コミュニケーションとリーダーシップを身につけるワークショップ

▽作業の安全、刃物やチェーンソーの扱い  
▽測量実習  
▽間伐現場の見学  
▽間伐のための調査実習  
▽世界の林業／五日間の振り返り

――といった内容を学びます。講師は、作業現場での経験も長く岐阜県立森林文化アカデミーでの指導実績もある内田健一さんをメインに、ワークシヨップは都留文科大教授の高田研さんをお招きしています。

受講についてお気軽にお問い合わせください。（担当＝手塚）

# 釜石地方森林組合からのおしらせ

## ◆林野火災に市民の力

他のページでもお伝えして  
ますが、昨年五月に発生した尾  
崎半島の林野火災後に、釜石市  
内外から四九件、百三十二万円  
余り（今年四月末現在）の募金  
が寄せられました。またこの募  
金を活用し一七〇名もの方々に  
植樹活動に参加していただきま  
した。結果、約一・九ヘクタ  
ールに四千本近いカラマツやコナ  
ラを植えることができました。  
復旧予定の全体面積から考えると  
と少しの面積ではありますが、  
県立釜石高校の生徒の皆さんな  
どこれからの地域を担う若い人  
たちが地域の自然環境に関心を  
持ち復旧に参加してくれたこと  
は大きな意味があると考えてい  
ます。来年以降も、広く一般の



方々に植樹や整備活動に参加し  
ていただく機会を設けてまいり  
ます。

## ◆鶴住居スタジアムに 木製シート

いよいよ来年に迫ったラグ  
ビーワールドカップ。釜石鶴住  
居復興スタジアムでも二試合が  
予定されています。スタジアム  
の本設シートなど尾崎半島の林  
野火災で被害を受けたスギが使  
われています。

①本設ウッドシート	4990 席 (全 6000 席中)
②公衆トイレ(「森の 貯金箱」グループ 特許工法を採用)	2 棟
③やぐら棟・WC棟 用ルーバー	751 本
④じゃかごベンチ	108 基

当組合では当初、釜石大槌産  
の間伐材の利用を提案してきま  
したが、林野火災の発生を受け  
て被害木で制作したシートのサ  
ンプルを関係者にお見せして説  
明するなど活用を働きかけてき  
ました。  
ウツドシートの加工は  
・伐採Ⅱ釜石地方森林組合

- ・製材Ⅱ上田製材所(大槌町)
- ・加工Ⅱリンデンbaum遠野/  
シオン(矢巾町)
- ・施工Ⅱ株オカムラ

が担当。伐採から加工まで、  
地域産材の活用・販路拡大のた  
めの「上閉伊地区木材流通協議  
会(事務局:釜石地方森林組合)  
の仕組みを使って、地域内でお  
金を回すことができました。

使用した木材は、通常よりも  
若干高い価格で買い取っていた  
だき山林所有者にお金を返すこ  
とができます。一方で、地域産  
材を地域で加工することによつ  
て、重くかさばる木材の輸送コ  
ストを最小限にとどめることが  
でき、加工・施工まで含めた  
全体のコ  
ストは抑  
えること  
が可能に  
なりました。

当組合  
ではひき  
つづき被  
害木の販  
路拡大に  
向けて取  
り組んで  
いきます。



## ◆町産材利用の交流施設 「おしゃっち」に木製品寄贈

大槌町の復興のシンボルとな  
る町文化交流センター(愛称「お  
しゃっち」)が完成し、利用が  
始まりました。一四〇名収容の  
ホールや町立図書館、津波伝承  
機能を兼ね備えたこの建物は木



情報など  
・固定資産税明細書又は山林の  
固定資産評価証明書

## ◆組合員地区会議開催に ついて

役員選任並びに総代選挙に関  
する組合地区会議(唐丹、釜石、  
平田、甲子、鶴住居、栗橋、大  
槌の6地区)を本年秋ごろ予定  
しております。日程が決まり次  
第、通知致します。地区組合員  
が一堂に会す数少ない機会です  
ので、ご出席のうえ忌憚ないご  
意見を願います。

## 【地区担当】

- 唐丹Ⅱ小笠原友彦
- 甲子Ⅱ今野翔平
- 鶴住居Ⅱ佐々木典子、藤原利  
矢子
- 釜石・平田Ⅱ久慈雄一
- 栗橋Ⅱ佐々木健介
- 大槌Ⅱ加賀洋希

## 編集後記

昨年、林野火災の影響で発行  
時期がずれ森林組合だよりで  
すが、今年からは例年、この時  
期にお届けしてまいります。国  
が創設する「森林経営管理制  
度」など林業界をめぐる状況は  
めまぐるしく変化しています。  
組合員の皆さんに分かりやすい  
情報をお届けするよう努めてま  
います。パソコンをお使いの方  
はぜひ当組合のホームページ  
(kamamori.jp)もご覧ください。  
今号も編集は、復興支援員(釜  
援隊)の手塚が担当しました。

◆組合員名義変更のお願い  
組合員名義変更(相続・贈与  
等の理由)があった場合は速や  
かに組合に届け出をお願いいた  
します。  
【必要書類】

- ◎相続による組合加入申込書、  
組合員名義変更届(贈与)等
- ◎印鑑(認印可)
- ◎森林所有者が確認できる書類  
の写し
- ・相続登記等関係書類(相続関  
係等が確認できる書類)
- 山林の登記簿謄本
- 山林の権利証又は登記識別